



新小学一年生に 文房具をプレゼント



3月27日、鹿児島県トラック協会の関係者が市役所を訪れ、市内小学校の新入生1,009人に向けて交通安全教材を寄贈しました。これは、昭和61年から続けられているもので、今年は交通標識が掲載された定規に加えて鉛筆と消しゴムを寄贈。同協会大隅南支部の山元猛志支部長は「鹿屋市の未来を担う小学生たちに、交通安全に対する意識を高めてもらいたい」と語りました。

4年ぶりに 棒踊りを奉納



3月26日、上祓川町の瀬戸山神社で4年ぶりとなる「春祭はるまつり」が行われました。これは、祓川地区に春を告げる伝統行事と言われており、市の無形民俗文化財にもなっている棒踊り。今年は、上祓川と祓川の2町内会から小中学生らの踊り手36人が参加。威勢の良い掛け声と共に勇壮な舞を披露し、五穀豊穡・疫病退散を願って瀬戸山神社に棒踊りを奉納しました。

持てる力を発揮 59人が合同入社式



4月5日、鹿屋商工会議所で「令和5年度鹿屋市中小企業合同入社式」が行われました。これは、市内の中小企業の新入社員を激励するために毎年行われているもので、今年は59人が参加。代表として有限会社マルタ建設の皿良佳央さんは「物価高による経済停滞など企業が抱える問題は多いが、いかなる困難にも打ち勝ち持てる力を存分に発揮したい」と誓いの言葉を述べました。

平和公園の桜と 様々な催しを満喫



3月31日～4月2日、平和公園で「2023くしら桜まつり」が開催されました。期間中は夜桜を楽しむためのちょうちんが設置されたほか、最終日にはメインイベントとして九州ご当地アイドルなどによるステージショーや長縄跳び大会を実施。また、同日に行われた「第38回くしら桜まつりジョギング大会」では、540人のランナーが桜並木のトンネルを懸命に走り健脚を競いました。



希望と期待を胸に 新入生183人が入学

4月7日、鹿屋女子高校で「第65回入学式」が行われました。式では、新入生183人を代表して宮ヶ原明依さんが「校訓の『正しく・優しく・健やかに』を胸に、自分の目標の実現に向けて頑張りたい」と3年間の抱負を語りました。



手打ち野球Baseball5の 魅力を伝えたい

3月27日、5人制手打ち野球競技「Baseball5」の選手で、本市出身の宮之原健氏が市役所を訪れました。メキシコで行われた世界大会に出場し、準優勝を収めた同選手は「男女交えて楽しめるこの競技を広めていきたい」と語りました。



大始良ソフトボール 優勝をたたえる

3月24日、大始良ソフトボールスポーツ少年団が市役所を訪れました。これは同少年団が「第49回鹿児島県ちびっこソフトボール大会」で優勝したことを報告するもので、子どもたちは試合の感想や優勝した喜びについて報告しました。